

様式第2号 (第3条関係)

行政視察等報告書

令和7年5月14日

米子市議会議長様

会派名 自由創政
代表者氏名 戸田 隆次



提出者氏名 西野 太一



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	田村 謙介 西野 太一
期日	R7年5月7日からR7年5月8日まで
〔視察等年月日・場所・内容〕	
研修会日時 R7年5月8日 10時～16時30分	
場所 福岡県福岡市博多区 リファレンス駅東ビル	
研修内容 生成AI (チャットGPT) の基礎 (午前) 財政問題の取り上げ方 (午後)	
.....	

〔視察等の目的〕

近年、生成 AI の進展により、地方議会においてもデジタル技術を活用した政策立案や住民対応の効率化が求められています。今回の研修では OpenAI 社の「ChatGPT」を活用した議会活動の可能性に理解を深め、「決算カード」などの財務資料を基にした質問の組み立てなど、実務的な活用方法を学ぶことを目的としました。

〔視察等要旨〕

- ・ ChatGPT の基礎、基本的な仕組みと活用方法
- ・ AI にできて議員にできないこと。また議員にしかできないこと
- ・ 効果的な「指示」のコツ（プロンプト）
- ・ 議員としての AI リテラシー

- ・ 決算カードの読み方
- ・ 生成 AI を使って「決算カード」を使って財政分析
- ・ 複数年度の比較や他自治体との比較にも対応可能

〔視察等（説明）要旨に対する考え方及び本市の事務事業に参考となる点〕

- ・ ChatGPT は、適切な指示（プロンプト）を与える事で、かなり精度の高い回答や分析をしてくれる。
- ・ 決算カードなどの財政データをもとに政策的な課題を見つけ出す過程で、AI を活用する事で議会質問の質を高めることができる可能性を感じた。
- ・ 議会活動の効率化だけでなく、住民サービス向上のための新たな手段としても有用であると実感した。
- ・ しかしながら、AI の回答はあくまでも参考資料、補助輪とし、判断は議員自身が行う。

- ・ 今後は市民への利便性向上のため、ChatGPT を補助的なツールとして議員活動に取り入れていきたい。特に財務資料に対する AI の分析結果を参考にし、市民にもわかりやすく伝える工夫が必要である。

経 費	旅 費 @	55,635 円（西野）	
	旅 費 @	55,585 円（田村）	
	その他 @	30,000 円 × 2 人 =	60,000 円
	手数料	440 円	
		合 計	171,660 円

（注）氏名を自署する場合は、押印を省略することができる。

